

比布町とピップ株式会社の関係の始まりは？

1980年、とあるCMが放送されました。比布駅にて女優の樹木希林さんと、当時のピップフジモト（現ピップ株式会社）の横矢会長がホームの行き先板の前で、コミカルなやりとりをするピップエレキバンのCM。この放送がきっかけとなり、比布町の名前が全国的に知られるようになりました。放映前は月30枚程度だった駅入場券の販売枚数が、放映月には6,936枚、翌年8月には14,523枚売れるほど話題に。そして、この放送が縁となり、ピップ株式会社との交流が始まったのです。

昨年から始まった「比布町応援大使」事業では、第1弾がピップ株式会社の松浦社長でした。

そして、CM放映から約40年の時をへて、令和という新しい時代を機に「PIP相互応援大使活動」という形で、新たな協力関係を築くこととなりました。



比布駅に設置された顔出しパネル

中学校でのすぼやかプロジェクト

特集

「PIP相互応援大使活動」

始動!

遂に「結ばれた」 相互応援大使活動開始

成させました。

8月7日、七夕天国と同時に、比布町と、ピップエレキバンなどの製品で有名なピップ株式会社との「PIP相互応援大使活動」開始お披露目発表会が行われました。

この「相互応援大使活動」とは、お互いにPRし合うことで、知名度向上や、さらなる発展に繋げてゆこうとするものです。

その発表会は、結婚式を模した形で行うというユニークなものでした。ピップ株式会社のコーポレートカラーである緑の「ヴァージンロード」を「新郎新婦」に扮した村中町長と同社の松浦社長が腕を組み入場。町民や関係者の「参列者」が見守る中、比布町は特産品であるお米「ゆめぴりか」を、ピップ株式会社は自社商品を「結納品」として交換しました。そして、今回相互応援大使活動を始めるに当たって新たに作られた共通ロゴ「PIP」をかたどったオブジェを、二人の「初めての共同作業」として完了

これは、比布町とピップ株式会社を繋いだ「びっぶ（PIP PU）」という文字を、まるで笑みを浮かべているようなデザインにしたものです。

最後に今後の協力活動を二人で「宣誓」。二人で宣誓書にサインをし、式を終えました。

この相互応援大使活動は、すでにいくつかの事業がスタートしています。発表会同日には中学校で「スポやかプロジェクト」としてテーピング講座を実施。中学生がテーピングの理論や巻き方などの指導を受けました。また、比布駅に、両者を結びつけかけたピップエレキバンのCMの顔出しパネルを設置しています。今後の活動



相互応援大使活動のシンボルとなる「PIP」マーク

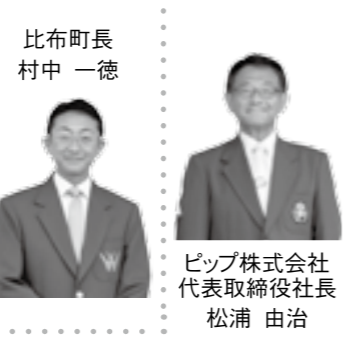
予定としては次のような事業を計画しています。詳細が決まり次第お知らせしますので、ご期待ください。

- ピップ株式会社の取り組み
- ・婚姻届など各種届出提出時にピップ株式会社の商品でお祝い。遊湯びっぶ宿泊者に商品の

プレゼント。比布町限定商品の販売や商品のプレゼント

- 比布町の取り組み
- ・スキー場や球場など広告提示。ピップ株式会社社員の町内施設利用における一部サービス。イベント時、商品告知や販売場所のスペース利用提供

相互応援大使活動開始にあたって



ピップ株式会社さんと「相互応援大使活動」をスタートできますことを大変嬉しく思います。ピップ株式会社さんの企業理念に掲げられております「ウェルネス」は、まちづくりにとりましても大切なキーワードであり、ピップ株式会社さんと協力して、町民の健康づくりをすすめてまいりたいと思います。

比布町とは、10年ほど前から開催していますパークゴルフ大会のご縁がきっかけで、昨年、私を比布町の応援大使に任命いただき、また交流を深めるきっかけをいただきました。これからは社をあげて、お互いの魅力を全国に発信していきます。また、当社としては、町民の皆様へ、商品を通じて健康のサポートに取り組んでいきます。更に、比布町は、道内外問わず年間18万人が訪れます。比布町で当社の商品をPRさせていただくことで、幅広い方々に商品を知っていただければ幸いです。今後、この活動を長く継続していきます。